

響け念仏 北の大地に

2025
(令和7)年
正月特別号

本願寺帯広別院だより

〒080-0803 帯広市東3条南5丁目3 TEL:0155(23)3720
FAX:0155(21)4989 発行人:輪番・石川勝紀

別院ホームページ
<http://www.betsuin.jp/> →



年頭のご挨拶

輪番 石川勝紀

「一年の計は元日にあり」という言葉があります。新しい年を迎え、皆さんは希望的な未来を想像するでしょう。

さて未来を漢字一文字で表すなら「前」でしょうか「後」でしょうか？ 多くの方は「未来は前、過去は後ろ」と思うことでしょう。しかし日常の表現において、未来を表すには「三日後、一年後」など「後」という漢字が使われ、過去を表すには「三日前、一年前」など「前」という漢字が使われます。私たちの記憶・目の前に見えるのはすべて経験してきた過去「前」の話で、実は未来は「後」にあります。すなわち私たちは見えない未来に向かって後ろ向きに歩んでおり、一年後はおろか明日何が起こるかわからない日々を過ごしているのです。



阿弥陀さまは迷いの世界で苦しむ私たちにもどこでも寄り添ってくださる仏さまです。私たちは後ろ向きに先が見えない人生を歩んでいますが、つまずいても道に迷っても、決して私たちを見捨てることはなく、私たちに寄り添ってくださいます。

新しい年を迎えるにあたり、仏さまのお心をいただきながら共にお念仏のかおる日暮らしをおくりましょう。

謹賀新年

代表役員 輪番

石川勝紀

責任役員

木野村英六

宮下宜則

総代

藤本長章

西田雅喜

高橋猛文

池田奉昭

花房浩一

杉山徳治

参与 桃井直行

肝煎 莊田和雄

高山田紀

梶原弘仁

野村文吾

郷田幸紀

岡田幸紀

令和6年能登半島地震により被災された皆さまに
衷心よりお見舞い申し上げます

1月のご案内

元旦会 1日9時〈本堂〉

常例布教13日~16日13時〈講堂・本堂〉 宗祖月忌法要15日・16日13時〈本堂〉

2月のご案内

月例布教 1日~3日13時30分〈講堂〉

常例布教13日~16日13時〈講堂・本堂〉 宗祖月忌法要15日・16日13時〈本堂〉

念仏奉仕団の旅

《2024年12月1日～4日 京都・本願寺への団体参拝旅行報告》



築地本願寺。仏教が伝わってきたシルクロードを思わせるオリエンタルな建築は圧巻。当時ご門主だった大谷光瑞師とのご縁で、伊東忠太博士が設計した、との解説を石川輪番から聞く

12月1日(日)、帯広別院念仏奉仕団の旅が始まりました。4日(水)まで3泊4日の旅程です。

1日目は帯広空港を出発して羽田空港に着き、東京の築地本願寺に参らせていただきました。大都會の中心に位置する築地本願寺で法要参拝ののち、職員さんから沿革を説明していただき、合同募も拝見することができました。その後、東京駅から新幹線で京都へと向かいました。進行方向右手に、他の山とはあきらかに大きさがちがう富士山が見えてきました。「富士山はすごいね」と感動の声が聞こえてきました。

2日目、午前中は京都観光です。東福寺班と二条城班に分かれ、それぞれ京都の紅葉を満喫しました。

午後にはご本山で、旅の目的である念仏奉仕団が始まりました。オリエンテーションで、全国各地から参加してきた奉仕団の紹介や、職員さんによる日程説明があり、親鸞聖人の木像が安置されている御影堂に移動して、畳や板間の拭き掃除をしました。

し、京の台所「錦市場」を訪れ、辺りを散策しました。

最終4日目は、風光明媚な嵐山を散策し、午後、一路伊丹空港へと向かいました。帰路、参加された方から職員に「私が元氣な間に、ぜひとももう一度念仏奉仕団に参加したいから、急いで次回の旅行を企画してほしい」との申し出をいただきました。「また皆さんで参加しましょう」と口ぐちに言い、帯広空港にて解散しました。思い出に残る素晴らしい参拝旅行でした。

3日目は晨朝参拝をし、宿に戻って朝食、本願寺にてお庭の清掃、ご門主さまとの面接、記念撮影をしました。終了後は国宝の書院「鴻の間」にてお抹茶のご接待をいただき、書院や能舞台などの国宝・重要文化財について説明を聞きました。参加の皆さんはめったにできない体験を喜んでおられました。念仏奉仕団の日程が終わり、午後は、聖徳太子が創建され親鸞聖人が法然聖人を訪ねるきっかけとなった六角堂にお参り

本山。写真奥は「御影堂」、廊下でつながった手前が「阿弥陀堂」



御影堂・阿弥陀堂の縁側や廊下にある節穴や亀裂は、動物や植物などをかたどった木材で埋められている。大工方の粋な気遣いの表れ→



本山。御影堂のつばいに全国の奉仕団があつまった



本山。修復され極彩色になった唐門の前で



本山。ふき掃除



本山。「さかさ銀杏」ともよばれる大銀杏の前で



本山。広大な境内の落ち葉をかく



嵐山にて



本山。書院でお抹茶のご接待

六角堂にて

行事報告

藤花保育園
園児さん本堂参拝



昨年11月22日(金)、藤花保育園の園児さん25名が、園から歩いて別院本堂へお参りに来られました。

本堂に入って一緒にお勤めをした後、「おてらたんけん」をし、職員からお浄土の六種の鳥(白鵠、孔雀、鸚鵡、舍利、迦陵頻伽、共命の鳥)のお話を聞きました。園児さんはずぐに鳥の名前を覚え、保育園に戻ると、来られなかった小さなおともたち(年少以下の子ども達)に、お寺で教わったことを一生懸命説明していました。

お煤払い

昨年12月22日(日)

の早朝、お晨朝に引き続いて、本堂の「お煤払い」を行いました。

16名の方が参加され、畳や窓の棧まで入念にきれいにしていたできました。

1年間にたまったホコリを落とした本堂は見違えるようで、清々しく除夜会・元旦会を迎えることができました。



佛壇 佛具 お宮 神具

佛壇屋さん

〒080-2469

帯広市西19条南2丁目27番6号

電話 (0155)35-0229

営業時間午前10:00~午後18:00まで

定休日:水曜日



十勝で現代仏壇を見られるのは当店だけです。

GALLERY memoria 帯広

〒080-0013 帯広市西3条南9丁目2

セントラル十勝ビル1F(帯広郵便局前)

☎0120-972-933

営業時間/AM9:30~PM6:00 定休日/水曜日

オンラインショップ

仏壇・仏具 各宗派取揃えて居ります
お宮・神具

(有)清水仏具店

帯広市西3条南27丁目16番地

電話(0155)25-3320

(0155)23-7664

FAX(0155)25-3320

仏壇・寺院仏具
仏像制作
仏壇・仏具クリーニング

(有)たち佛具店

帯広市大通南3丁目8-2

電話 (0155) 27-6155

FAX (0155) 27-6156

ご法話

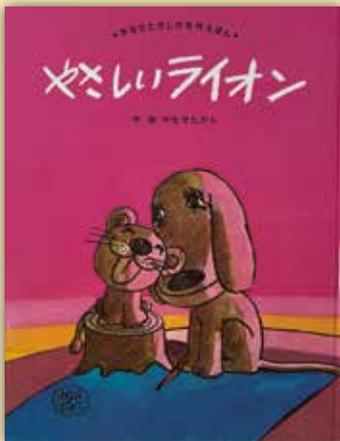


お正月を迎えて

文：渡邊了海

新年あけましておめでと〜うございませう。どうぞ今年もよろしくお願ひします。さて、世界中で新年を迎えて家族と一緒に過ごす時間が増える1月であるはずが、国の勝手な都合で家族離散の国もあることを忘れてはなりません。この発達した世の中でも未だに戦争をしているところがあるんです。そして攻撃されたら仕返しとして報復をするのです。今なお世界で起きている戦争では多くの犠牲者を出し続けています。いわゆる「殺生」という、いのちを奪う行為はいかなる理由があろうとも許されることではないはずです。親鸞聖人が「さるべき業縁ごうゑんのもよほさば、いかなるふるまひもすべし」(『歎異抄』)と言われています。これは、しかるべき業縁にうながされるならば、どんな行いもするであろう、という意味です。戦争などにより、攻撃されたから今度はその仕返しとして復讐ふしゅうだ報復だと言つて、その行為によっては見知らぬ誰かが傷ついていく、そんなおそろしいことをするかも知れないこの私に気づかされるのです。しかし人間は自分の過ちをなかなか簡単には認められませんが、人の欠点ばかりを見つけては相手を責め立てる愚かな私。そのような愚かな私を阿弥陀さまは最初から見抜いておられ、救わずにはおれないと大悲のお心でいまここで働いてくださっているのです。浄土真宗の教えは許さないではなく、許す教え、報復ではなく報恩行(感謝の行い、恩に報いる行い)なのです。今年も皆さんと一緒に一念仏とともに歩んでいきたいですね。

1月 オススメの一冊



『やさしいライオン』

作・絵 やなせたかし
フレーベル館刊
32頁 税込1496円

親のいない子ライオン「ブルブル」と、ブルブルをわが子として育てることになったため犬「ムクムク」のお話です。

阿弥陀さまの慈悲のおこころは、母親となったムクムクのやさしさと同じであったと気づかされました。

また、いつくしみあう姿と、最後に起こる悲しい出来事は、

私たちがおろそかにしがちな他者への「やさしさ」や「命の尊さ」を改めて見つめなおさせてくれる、すばらしい絵本だと思います。(津村)

永代経懇志ご進納

(ご進納日 11月15日~12月14日)

佛壇・佛具・お宮・神具・数珠修理

三輪佛壇店

帯広市西二条南六丁目七番地
電話 (0155) 23-3584

お仏壇の丸屋

(有)丸屋仏壇店
仏壇・仏具・お宮・神具

帯広市東3条南5丁目
電話 (0155) 23-4644
FAX (0155) 21-5677

帯広別院のLINEができました ご登録をお願いします



+ 友だち追加



スマホで読み込み

左のQRコードをスマホで読み込み
LINE お友だち登録をしてください
帯広別院からの
ご連絡・行事案内が届きます
お仏事の相談もできます

お電話で通話しにくいシーンでも
LINE のトークでやりとりしていただけます
ご返答は日中、おつとめの合間にさせていただきます

※本願寺帯広別院が管理している公式のLINEです



令和7年 年回忌 早見表

1 周忌…… 令和6年
3 回忌…… 令和5年
7 回忌…… 令和元年/平成31年
13 回忌…… 平成25年
17 回忌…… 平成21年

23 回忌…… 平成15年
25 回忌…… 平成13年
27 回忌…… 平成11年
33 回忌…… 平成5年
50 回忌…… 昭和51年

自他ともにたい
せつな言葉紹介 **人我兼利** じんがけんり

念仏奉仕団 ねんぶつほうしだん

昨年12月1日から4日まで、20

名のご門徒さんとともに京都・本願寺へ清掃奉仕に参りました。帯広別院としては5回目の念仏奉仕団でした。

◆平成16年に50周年を迎えた念

仏奉仕団。その際、前門さまがご消息にて次のように述べられています。

「本願寺念仏奉仕団は、昭和二十三年の蓮如上人四百五十回遠忌法要に参拝された方々が、戦争で荒廃していた本願寺境内地を見て心を痛められ、自主的に来山されたことに始まります。(中略) 念仏奉仕団の方々のご奉仕と晨朝法要での正信偈のご唱和は、本願寺の宝であります。(後略)」

◆私たちは見返りを求めがちですが、前門さまのお言葉をうかがうと、今回の清掃奉仕の喜びを一人でも多くの方に伝えたいと思いました。(松原)